

直下に活断層！六ヶ所再処理工場

渡辺教授緊急盛岡講演会



青森・核燃料サイクル施設

直下に活断層か

最大100キロ
M8級地震も

東洋大教授ら指摘

5.25 新潟日報

試運転中の使用済み核燃料再処理工場がある青森県六ヶ所村の核燃料サイクル施設の直下に、これまで未発見だった長さ十五キロ以上の活断層がある可能性が高いとの研究を、渡辺満久東洋大教授（地形学）らが二十四日までにまとめた。

沿岸部海域の「大陸棚外縁断層」とつながっている可能性もあり、その場合、断層の長さは計約百キロに達し、マグニチュード（M）8級の地震が起きる恐れがあるという。

日本原燃は昨年、中越沖地震とほぼ同じM6.5を、千葉市で二十五日から開かれる日本地球惑星科学連合大会で発表し、確定も「施設の安全性は確認されている」と国に報告したが、教授は今回の研究を踏まえ「耐震や地形を調査。東側の太平洋沿岸の陸域で、幅一キロ、長さ約十五キロの活断層が見つけた」と指摘している。

渡辺教授は研究結果を、千葉市で二十五日から開かれる日本地球惑星科学連合大会で発表し、確定も「施設の安全性は確認されている」と国に報告したが、教授は今回の研究を踏まえ「耐震や地形を調査。東側の太平洋沿岸の陸域で、幅一キロ、長さ約十五キロの活断層が見つけた」と指摘している。

（関連記事3面）

高レベル放射性廃液を大量に貯蔵している、世界でも最も危険な化学工場、六ヶ所再処理工場。

チェルノブイリ事故の再現を決して許してはなりません。私たちの死活問題です。

活断層・地震の学習を深め、本格操業ストップの声を高めましょう。

☆ 講演会のお知らせ ☆

「真下に活断層！ 大事故の恐怖 六ヶ所再処理工場」

お話：渡辺満久教授 東洋大学 社会学部（地形学）

6月16日（月）18時半～21時 資料代 500円

会場：岩手教育会館 盛岡市大通1-1-16 電話019-623-3301

主催 ストップ再処理実行委員会、三陸の海を放射能から守る岩手の会

岩教組岩手支部 子どもと海と空の会 豊かな三陸の海を守る会

後援 原子力資料情報室

（問い合わせ連絡先 019-661-1002 永田）

再処理工場で事故が起こると

2008.6 現在六ヶ所再処理工場には約 200m³ の高レベル廃液が貯蔵されています。そのうちの **1 m³ でも漏れると大惨事** になります。

以下は 1 m³ が漏れた時の予想です。

